## ビロイ+CAPOX 療法(XELOX)

患者番号: 氏名: 性別: 年齡:

一 応 日 田 ひ・	10-11.	177/1.1 •		<b>一</b> 图19.		
がん種 (適応)	胃癌(CLDN18.2 陽性 HER2 陰性)					
開始年月日	年 月	日	1コース期間		21 日間	
体格	身長	cm 体重	Ĺ	kg	体表面積	m²
<b>嘔気・嘔吐リスク</b>		制吐剤		アロカリス注 +パロノセトロン注		
	高度			+デキサート注 9.9mg		
				+デカドロン錠4mg2錠2×(day2-3)		
オキサリプラチンは 6 コース目以降アレルギー症状に注意が必要です。ア						
特記事項	レルギー予防に前処置としてデキサート注 16.5 mg、ファモチジン注 20 mg、					
レスタミン錠 50 mgで効果があったという報告があります						
	※ビロイについての詳細な注意点は次ページを参照ください					

投与薬剤	投与量		投与時間	投与スケジュール	
ビロイ	初回	$mg~(800mg/m^2)$	※2 時間以	Day1	
	2回目以降	$mg~(600mg/m^2)$	上		
オキサリプラチン		(120 a/s <sup>2</sup> )	2 時間	Day1	
(8回まで)		$mg~(130mg/m^2)$	△時間		
カペシタビン (C 法)		mg/回	経口	2週服用1週休薬	

体表面積	初回投与量
1.36 ㎡未満	1200mg(4 錠)/回
1.36 ㎡以上~1.66 ㎡未満	1500mg(5 錠)/回
1.66 ㎡以上~1.96 ㎡未満	1800mg(6 錠)/回
1.96 ㎡以上	2100mg(7 錠)/回

## 【処方が必要な内服薬】

ピドキサール 10mg 6 錠  $3 \times$  毎食後 尿素クリーム 1 日 5 回以上塗布

カペシタビン

デカドロン錠(4)2錠2×朝昼食後/2日分(翌日より開始)

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介	
□HBs 抗原(-) → □HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-)	<b>→</b> □HBV-DNA 定量(一) → 3 ヵ月毎 定量
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+)	□HBV-DNA 定量(+) ── 消化器内科紹介

# ビロイの投与に関する留意事項

ビロイ点滴に起因する突発的な嘔吐が出現する可能性があります。

初回はガーグルベースンを必ず準備しておいてください。

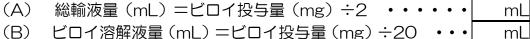
(2回目以降は前回治療の状況により対応してください)

嘔吐があった場合は症状が落ち着くまで中断し、1段階減速して投与を再開します。

### ●点滴速度について

総輸液量	~299	300	400	500	600	700	800~
(mL)		~399	~499	~599	~699	~799	
開始	25	35	50	60	75	85	100
~30分	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時
30	50	70	100	120	150	170	200
~60分	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時
60	75	105	150	180	225	255	300
~90分	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時
90分~	100	140	200	240	300	340	400
	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時	mL/時
悪心 G2	投与を中断し、症状が改善したら 1 段階減速して再開する。						
嘔吐時	(悪心G2は食事が通常通り摂れないくらいのむかむかの程度です)						

#### ●総輸液量は 2mg/ml となるように調整する



(C) 必要生食量 (mL) = (A) - (B) mL